

NPO法人 森づくり奈良クラブ



<会報 第93号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス: gvnc@nifty.com
ホームページ:
<http://gvnc.eco.coocan.jp>



新年おめでとうございます
本年も楽しく安全に
活動しましょう

NPO法人 森づくり奈良クラブ

昨年は会員の熱意で大きな成果を残すことができましたと思います。その思い出深い取組みやイベントなどを少し振り返ってみましょう。

令和5年は1月に珍しく雪が積もる寒さ厳しい中、会員の使命感により懸案だったみんなの森の老朽化した丸木橋を復旧し、路肩普請も含めて危険な遊歩道を安心して歩けるように改善しました。さらに芋からのこんにやく作りなども楽しみ、3月には奈良県森林ボランティア協議会（FV連）で主催と参加の主力として初日の研修につづき翌日の実習（天川村の地権者の希望だった桧林）の間伐を安全に行い、FV連のスキルアップにも貢献しました。



春になると、桜には遅れたものの竈門炊さんを楽しみ、前年からの取組み「冒険の森」の再生事業を所期の目的どおり完了させて、倒木や危険木があふれ笹が生い茂っていた森の再生を図ることができました。また、自主活動では3月までの矢田山展望台に至る整備に続き、5月から新たに小笹の辻南側の整備対象地で、枯損木を調査しながら、危険なものから伐採を進め、安全な森を目指した活動を現在も続けているところです。



暑さの増した夏には活動縮小の声も上がりましたが、8月に「奈良県山の日・川の日」に協賛して矢田自然公園内で自然観察会+大クラフト大会を開催すると11家族30人もの方が参加。暑さにもめげず盛大にイベントを実施し完了することができました。

また、草や笹が茂り特に暑かった夏から秋は、みんなの森・頂上展望台周辺・平成の森・国道沿線など草刈り、笹刈りが大繁盛でした。

10月から12月は、今号P4のTOPIXのとおりNEWのイベント指導や明日香村農商工祭参加、洞川植樹後の調査など重点取組み満載でした。

本年令和6年は取り巻く環境も厳しくなりそうですが、昨年のような取組みに、観察会・染物／炊さん／清掃活動なども加え、無理なく楽しく安全に、技術を磨き・活動活性化を図っていきたいと思います。

落葉松についてしらべてみた

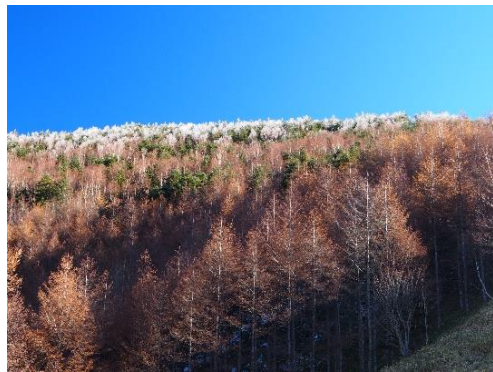
衛藤 修二

若いころから山登りが好きで、信州にはよく通っていました。その頃はひたすら高く険しく厳しい山に憧れ、山岳会で岩や雪を目指すことが登山と考えていたように思います。

その後、仕事が忙しくなり、子供も生まれ三十代半ば頃から五十才くらいまでは山から遠のく毎日。

五十代過ぎて先も少し見えてきた頃登山を再開。また信州の山を目指しましたが、山への向かい方も変わり、単独でじっくり山に浸る感じで厳冬や盛夏の登山は減って、山の動植物に触れることも多くなりました。

一度に6羽の雷鳥に訪問されたり、オコジョやカモシカとにらめっこしたりの出会いもありましたが、目指すのはやはり新緑と紅葉、特に秋が最も好きで紅葉の頃は最高。



写真左は南ア深南部の黒法師山、右は長野県大鹿村で下山途中に撮影したものでともに見事な紅葉・黄葉でした。

特に右のような「落葉松」の林は秋の信州を訪れるたびに息をのむ光景ばかりで、一番のお気に入りとなりました。

そこで、赤塚不二夫のおそ松くんの六つ子の兄弟の名としてしか知らなかった落葉松(からまつ)について少し調べてみました。

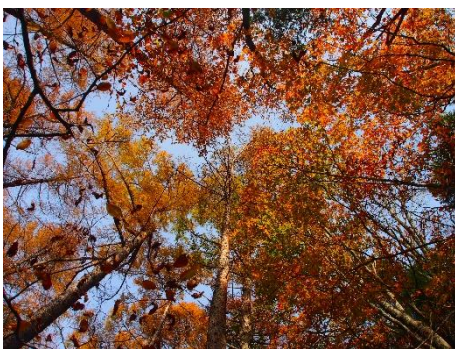


カラマツ（落葉松）は、マツ科カラマツ属の**落葉針葉樹**。**日本の固有種**。日本産針葉樹の中では唯一の落葉樹。「落葉松（ラクヨウショウ）」と書くこともある。北海道や長野県では大規模な造林も行われた。若い材はねじれが生じるため用途が限られるが、強度が強く、建材用としてスギ材と張り合わせたハイブリッド集成材が有望視されている。

天然林は長野県内を中心に浅間山、草津白根山、八ヶ岳、奥秩父などの各山々の周辺、また北アルプス、中央アルプス、南アルプスなど**日本アルプス周辺**で見ついている。

ユーラシア大陸東部に分布していたカラマツ属が氷河期の海面低下時に日本列島に分布したが、温暖化と共に分布を狭め山岳地帯に残されたという説が取られることが多い。

樹高は20 - 30m、胸高直径1 m程度。樹形は一般にやや細長い円錐形で、整った樹冠を形成する。標高が高い場所では、しばしば木がねじ曲がった樹形となる。カラマツは常緑のものが多くマツ科針葉樹では珍しく落葉樹であり、秋には葉が黄葉する。これは日本産の針葉樹では唯一で、他に著名な落葉樹である**メタセコイア**（ヒノキ科）は中国原産、**ラクウショウ**（ヒノキ科）はアメリカ原産である。



カラマツ菌類と樹木の根が共生して菌根を形成。菌類が作り出す有機酸や抗生物質による栄養分の吸収促進や病原微生物の駆除等の利点がある。カラマツの**林内は明るい**。カラマツ林では落ち葉が厚く堆積して、落葉の分解速度は遅く土壌を酸性に導くことも問題となる。林内が明るいものの、厚い葉の堆積によって林床の植生の発達が悪いことがみられることからカラマツには何らかの**アレロパシー**があると見られている。 Wikipediaより

※アレロパシー：植物が他の生長を抑える物質を放出、あるいは動物や微生物を防いだりする効果

西日本では、中国山地・四国山地・九州脊梁山地の一部に見られ関西では、琵琶湖西の比良山系南部のほんの一部の林に見られるようです。最近その木材の活用が見直されており、またイノシシの対策にも効果があるかもしれません。季節感満載で鑑賞にも最適の木のようなのです。

この四半期の活動記録

1 定例活動・・・みんなの森を中心とした維持・整備活動

- ・ 10月14日 曇り 8名参加 みんなの森上部育苗地および下部作業道周辺などで草刈りと笹刈り。上部では柿の収穫も行った。午後は平成の森草刈り班と車庫周辺の草刈り班に分かれて作業。
- ・ 10月28日 晴れ 8名参加 みんなの森下部で草刈り・笹刈り。特に柿の植樹地付近の笹刈りに合わせて柿を収穫。今年は予想した以上に豊作。特に甘柿は良く実っていた。午後は、頂上展望台の草刈り。



- ・ 11月11日 曇り時々晴れ 10名参加 翌週に迫った明日香村農商工祭に備えたクラフト等の準備をメインに別班は間伐材を有効活用するため搬出。またこれまで育てたクヌギなどの苗を平成の森に植樹
- ・ 11月25日 曇り 9名参加 先週に続き育てたクヌギなどの苗を自主活動の整備地に植樹。また、当クラブ活動時に掲示するための横断幕要支柱老朽化のため更改



- ・ 12月9日 晴れ 11名参加 みんなの森上部育苗地を整地し、どんぐりなどの種まき。別班は椎茸銀行の榎木の再整理。午後は次回のミニ門松製作準備と、理事会を行い次の定例日に臨時総会開催を決定。
- ・ 12月23日 晴れ 13名参加 午前臨時総会を開催し理事選任。(これに基づく理事会も開催し理事長副理事長を選任)。作業はミニ門松のパーツ作成と配布展示、及び大門松を製作し交流館に飾り付け。料理体験館にてご飯の竈門炊き、豚汁の炊爨を行って、皆でおいしくいただき納会を祝った。



2. 自主活動・・・ 林野庁助成事業を中心に

- ・ 10月18日(水) 晴れ 5名 10月1日が雨天中止のためこの日に実施。小笹の辻南側斜面でナラ枯れなどの枯損木や危険木の伐採。二桁以上の危険木除去ができた。
- ・ 11月5日(日) 晴 4名 小笹の辻南側の整備対象林でナラ枯れ枯損木他危険木を10本程度除去した。併せて伐採後の材の整理を行った。
- ・ 12月3日(日) 晴 5名 小笹の辻南側の整備対象林の樹種調査を実施。直径15cm程度以上の樹木について、落葉樹/常緑樹等の分類を行い、総本数を調査。今後の成長や変動への参考資料を作成。



1) 令和5年度奈良市NEW主催の森林体験講座に協力

10月7日(土)奈良市の元明天皇横の森にて、奈良市地球温暖化防止協議会(NEW)主催の森林体験会に当クラブからも森の活動案内やクラフトの指導者として参加。4家族11名が森で栗拾い体験のあと、竹の一輪挿しなどを作成し持ち帰り。秋の一日を存分に楽しんでもらいました。

指導に当たった7名のスタッフや、草刈の協力、お疲れさまでした。



2) 奈良県FV連で植樹したキハダの生育状況を調査

10月29日(日)、過去2年にわたり奈良県FV連の研修会で植樹を行った天川村洞川の植栽地に5名が参加して、植えたキハダの生育状況を確認し記録しました。

100本以上のキハダは一部鹿の被害などを受けていたものの、おおむね期待通り生育していることを確認できました。

午後から洞川スキー場近くの広大な皆伐地にキハダを植樹し落葉樹の再生に取り組む様子を見学、洞川財産区議長の事業の説明もお聞きし有意義な一日となりました。

3) 明日香村農商工祭にクラフトブース設置と指導で協力

10月29日(土)、明日香村石舞台古墳の公園周辺で開催された農商工祭で、中部農林「森の学校」としてブースを設置し、クラフト指導を行いました。当日はあいにくの冷たい雨模様で来場者も少なく、呼び込みが必要となる状況でしたが、何とか無事に役目が果たせたと思います。

準備から当日指導まで携わられた8名の皆様たいへんご苦勞様でした。



4) 納会で竈門炊きと豚汁などの炊爨で料理を堪能。その後門松と記念撮影



12月23日(土)今年最後の定例活動日に納会。

臨時総会(下記)の後、竈門炊爨の班と門松製作班に分かれて納会の準備を行いました。竈門ご飯はおこげもバッチリ。具沢山で旨さ満点の豚汁に漬物・ふかし芋など豪華昼食が完成。全員で大釜の火を囲みながらおいしくいただきました。

門松製作では持ち寄った材料で、まずミニ門松を作成。更に子ども交流館横の石の銘板付近に立派な門松を飾り付けました。最後に全員で門松を囲んで記念撮影し、無事な一年に感謝。



◇12月23日(土)臨時総会開催、理事・監事を再任

当クラブの役員任期が令和6年1月13日で満了となるため、1月14から任期2年の役員選任を議題に、12月23日(土)10時から料理体験館にて臨時総会を開催した。

会員の過半数の出席を確認の後、清原さんを議長に選出し現在の理事7名(奥・奥村・鈴木・清原・幸田・渡邊・衛藤)と監事1名(岡本)の再任を1号議案の通り承認し、当該理事・監事の承諾を得た。その後幸田さん・奥村さんを議事録署名人に承認して閉会した。

※()内敬称略

同日午後定款に基づき臨時総会結果を受けた理事会を開催、理事長に奥理事、副理事長に奥村理事と幸田理事を選出し、当該理事の承諾を確認して閉会した。

特定非営利法人 森づくり奈良クラブ 臨時総会	
開催日時	令和5年12月23日10時00分～
開催場所	矢野山麓の森 料理体験館
議 事 次 第	
1.	開会
2.	理事長挨拶
3.	臨時総会成立確認
4.	議案選出
5.	議事
■第1号議案 令和6年1月13日役員任期満了につき改選の件 令和6年1月14日より2年間の役員を選任願いたい。なお、候補者は次のとおりである。	
理事	奥 恵一郎 (再任)
理事	奥村 伸一 (再任)
理事	鈴木 秀位 (再任)
理事	清原 正彦 (再任)
理事	幸田 とし子 (再任)
理事	渡邊 晋緒理 (再任)
理事	衛藤 修二 (再任)
監事	岡本 寿夫 (再任)
■第2号議案 議事録署名人選任の件 本臨時総会の議事録署名人として次のものを指名するので、選任願いたい。	
議事録署名人	幸田 とし子 奥村 伸一

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ 奥 恵一郎

〈後記〉 会報を担当し2年半を経過、最近は投稿頂くのも厳しくなってきました。そこで理事会で発行周期半年化を承認いただきましたので、心苦しいですが本年以降7月、1月発行とさせていただきます。よろしく願いたします (E)